

平成 24 年 4 月 11 日

平成 24 年度教員免許状更新講習の申込がはじまります！

○教員免許状更新講習の申込開始

福島大学では平成 24 年度も教員免許状更新講習を実施します。申込受付期間は**平成 24 年 4 月 16 日（月）から 5 月 14 日（月）**までで、すべてインターネットでの受け付けとなります。

○講座開設趣旨

この講習は、教育職員免許法の改正により設けられた 10 年間の有効期限を更新するためのもので、文部科学大臣の認定を受けて本学が開設するものです。本講習を受講し、修了認定試験において認定基準に達した場合は、履修証明書を発行します。受講義務者は定められた期日までに、免許管理者（勤務する学校等が所在する都道府県の教育委員会）に更新講習修了の確認申請を行うことになります。

○受講対象者

今回実施の講習は、現職教員等で以下の方を対象としています。

平成 25 年 3 月 31 日に修了確認期限を迎える方	
生 年 月 日	平成 25 年 3 月 31 日現在の年齢
昭和 32 年 4 月 2 日～昭和 33 年 4 月 1 日	満 55 歳
昭和 42 年 4 月 2 日～昭和 43 年 4 月 1 日	満 45 歳
昭和 52 年 4 月 2 日～昭和 53 年 4 月 1 日	満 35 歳
平成 25 年 3 月 31 日に修了確認期限を迎える方	
生 年 月 日	平成 26 年 3 月 31 日現在の年齢
昭和 33 年 4 月 2 日～昭和 34 年 4 月 1 日	満 55 歳
昭和 43 年 4 月 2 日～昭和 44 年 4 月 1 日	満 45 歳
昭和 53 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日	満 35 歳

○実施計画

福島大学において開設する講習名、講習内容及び実施時期等の詳細は、本学免許状更新講習 Web サイト（<http://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/menkyo/index.html>）をご覧ください。

（お問い合わせ先）福島大学教務課（教員免許状更新講習担当）総合教育研究センター内

TEL : 024 - 548 - 8412 E-mail : kyomen@adb.fukushima-u.ac.jp

平成24年度福島大学教員免許状更新講習一覧

区分	講習 番号	講習の名称	講習の概要	会場	講習の期間	時間数	受講料	対象職種	主な受講対象者	受講定員
必修領域	1 - A	教育の最新事情（福島市）	講習内容としては、本学と福島県教育委員会との連携により作成（平成19年9月）した「福島の教員スタンダード」を生かすなど、講習の質の充実を図る。 内容：「教育の最新事情」 1．教職についての省察 2．子どもの変化についての理解 3．教育政策の動向についての理解 4．学校の内外での連携協力についての理解	福島市	平成24年6月16日（土）～平成24年6月17日（日）	12時間	12,000円	教諭 養護教諭	全教員	350人
	1 - B	教育の最新事情（福島市）	講習内容としては、本学と福島県教育委員会との連携により作成（平成19年9月）した「福島の教員スタンダード」を生かすなど、講習の質の充実を図る。 内容：「教育の最新事情」 1．教職についての省察 2．子どもの変化についての理解 3．教育政策の動向についての理解 4．学校の内外での連携協力についての理解	福島市	平成24年8月21日（火）～平成24年8月22日（水）	12時間	12,000円	教諭 養護教諭	全教員	350人
	1 - C	教育の最新事情（福島市）	講習内容としては、本学と福島県教育委員会との連携により作成（平成19年9月）した「福島の教員スタンダード」を生かすなど、講習の質の充実を図る。 内容：「教育の最新事情」 1．教職についての省察 2．子どもの変化についての理解 3．教育政策の動向についての理解 4．学校の内外での連携協力についての理解	福島市	平成24年9月8日（土）～平成24年9月9日（日）	12時間	12,000円	教諭 養護教諭	全教員	350人
	1 - D	教育の最新事情（いわき市）	講習内容としては、本学と福島県教育委員会との連携により作成（平成19年9月）した「福島の教員スタンダード」を生かすなど、講習の質の充実を図る。 内容：「教育の最新事情」 1．教職についての省察 2．子どもの変化についての理解 3．教育政策の動向についての理解 4．学校の内外での連携協力についての理解	いわき市	平成24年7月7日（土）～平成24年7月8日（日）	12時間	12,000円	教諭 養護教諭	全教員	180人
	1 - E	教育の最新事情（郡山市）	講習内容としては、本学と福島県教育委員会との連携により作成（平成19年9月）した「福島の教員スタンダード」を生かすなど、講習の質の充実を図る。 内容：「教育の最新事情」 1．教職についての省察 2．子どもの変化についての理解 3．教育政策の動向についての理解 4．学校の内外での連携協力についての理解	郡山市	平成24年8月9日（木）～平成24年8月10日（金）	12時間	12,000円	教諭 養護教諭	全教員	300人
選択領域	2	幼児期の学びをとらえる ；子どもの見方を変えて保育を楽しく	幼児期の「学び」や保育の自己評価・子ども評価についての最新の研究成果を踏まえ、幼児期に育てるべき「学び」の瞬間をとらえる方法を身につけることを目的とする。そのために、近年注目されているニュージージョランドの「学びの物語」を参考にして、子どもの生き生きとした学びのプロセスをとらえるための、誰でもやれる観察と記録の進め方を説明する。	福島市	平成24年9月2日（日）	6時間	6,000円	教諭	幼稚園教諭	30人
	3	特別支援教育の推進と充実をめざしてA	これまでの特殊教育から軽度発達障害児を取り込んだ特別支援教育への転換について、その意義と課題について学ぶ。	福島市	平成24年6月23日（土）	6時間	6,000円	教諭 養護教諭	小中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭	200人
	4	特別支援教育の推進と充実をめざしてB	この講習では、主に以下の内容を講義する。 1）広汎性発達障害（PDD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）のアセスメントと対処法。2）これらの障害に関連する神経科学の最新知見、とりわけ社会的認知障害、遂行機能障害、ワーキングメモリー障害、注意障害、記憶障害、協調運動障害に関する概要。3）神経科学の知見を、教育現場で生かすための評価法と教育法。	福島市	平成24年8月7日（火）	6時間	6,000円	教諭 養護教諭	小学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭	200人
	5	特別支援教育の推進と充実をめざしてC	発達障害や知的障害のある子ども達に対する支援を行っていくのに活用が期待されている、応用行動分析の入門となる事項を学ぶ。 また、発達障害や知的障害のある子ども達が示す「気になる行動」とその対応法について、応用行動分析の観点から演習形式で考えていく。	福島市	平成24年8月8日（水）	6時間	6,000円	教諭 養護教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	50人
	6	国語セミナー(小学校教諭向け)	新学習指導要領を踏まえながら、小学校国語科における授業づくりの在り方について考察を深める。とくに、教科書教材の読みの分析と解釈、「書くこと」の多岐にわたる指導、作文表現の指導方法について、教育現場の実践例などをもとに検討していきたい。	福島市	平成24年8月18日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教員	100人
	7	国語セミナー 国語学	言語学の一分野としての国語学（日本語学）に関する講義を行う。具体的には、国語教育で扱われている国文法と、日本語学・日本語教育で扱われる日本語文法との共通点、相違点について概観する。そのためのテキストとして、国語の教科書に採られている教材のほか、古典教材等を用い、記述的、実証的な考察を行っていく。	福島市	平成24年7月31日（火）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校の国語教員	100人

区分	講習 番号	講習の名称	講習の概要	会場	講習の期間	時間数	受講料	対象職種	主な受講対象者	受講定員
選択 領域	8	国語セミナー 漢文学	漢文学の基礎となる古代中国の諸文化について、「漢字文化」の観点をふまつつ講述する。具体的には、漢文学の原義、漢字の成立とその背景、古代の寓話寓言、古代の歌謡といった内容を中心に、文字資料、図版資料を使用しながら考察をおこなってゆく。	福島市	平成24年8月3日（金）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校国語科教諭	100人
	9	国語セミナー 日本文学（古典）	中学校・高等学校の国語教科書に掲載されている教材の中から、主として奈良・平安時代の作品を取り上げ、文学教育的観点から講義する。そのうち、講義内容と現場の実情をふまえつつ、古典教育のあり方について討議する。講習で使用するテキスト等はプリントにて配布するが、古語辞典や古典文法書等は各自準備すること。	福島市	平成24年8月27日（月）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校教諭（国語）	100人
	10	小学校外国語セミナー	小学校外国語活動の実施にあたり、必要とされる英語教育の理論的知識を理解し、実践（授業のデザイン、実施、反省の三位一体）していける素地を養う。特に心理言語学的視点から第二言語習得の特徴を探るとともに、外国語活動の指導上の創意工夫として「英語ノート」を中心に講義していく。（当日持参頂きたい物：英和辞典）	福島市	平成24年6月2日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭	100人
	11	小学校外国語活動と中学校英語の連携：研究と実践	新学習指導要領の「外国語活動」は2011年から小学校の5・6年生に35クラスが必修になり、多くの小学校教諭の負担は急増すると予想している。同時に、中学校側の英語教諭は小学生に何を期待できるか、小中のカリキュラムを統一すべきか、専門知識のある人はどう貢献するか等の課題が少なくないであろう。この講習で講師が2011・13年度の基盤研究課題「小・中学校の学習・指導の一致性に関する調査」で研究している最新の実験、データ、論文の結果を要約しながら、受講者と論じる。	福島市	平成24年9月23日（日）	6時間	6,000円	教諭	小学校で外国語活動を担当する教諭、中学校英語教諭	25人
	12	英語研究セミナー A	英語教育学では「英語理解における記憶の役割と評価」、「授業における活動を考える」について講義を行う。「英語理解における記憶の役割と評価」では、言語を理解する際にかかわる記憶の種類とその重要性及びテストにおける評価のあり方について理解を深めることを目指す。「授業における活動を考える」では、コミュニケーション、意味内容／言語形式、技能などの視点から、活動のあり方についての理解を深めることを目指す。	福島市	平成24年7月29日（日）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	100人
	13	英語研究セミナー B	英語を中心とした通時的・共時的な言語研究の成果に基づいて、英語の語彙・意味・構造などに関するいくつかのトピックを取り上げる。英語教育の視点をふまえながら、それぞれの事項について理解を深めることを目的とする。	福島市	平成24年7月27日（金）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	50人
	14	英語研究セミナー C	近代から現代の英米文学および関連する研究について講述し、教師の専門的力量や教授能力の向上に資することを目標とします。英語研究セミナー A・B と併せて受講することにより、三分野に関する専門的な知見が得られるだけでなく、授業実践についても有益な情報が得られることになります。	福島市	平成24年7月28日（土）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	50人
	15	小学校社会科セミナー	小学校社会科の様々な分野に関して、近年の社会科教育学や関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを社会科教育においてどのように活用していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。小学校社会科の事例を取り上げながらの講習となるので、主な受講対象者は小学校教諭とするが、中学校・高校教諭も受講可能。	福島市	平成24年8月6日（月）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭	100人
	16	小学校社会科セミナー	小学校社会科の様々な分野に関して、近年の社会科教育学や関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを社会科教育においてどのように活用していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。小学校社会科の事例を取り上げながらの講習となるので、主な受講対象者は小学校教諭とするが、中学校・高校教諭も受講可能。	郡山市	平成24年8月8日（水）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭	100人
	17	中学校社会科教材開発（地理的分野）	中学校社会科地理的分野の様々な分野に関して、近年の地理学や社会科教育学、関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように活用していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。中学校社会科の事例を取り上げながらの講習となるので、主な受講対象者は中学校教諭とするが、小学校・高校教諭も受講可能。	福島市	平成24年7月16日（月）	6時間	6,000円	教諭	中学校社会科教諭	100人
	18	中学校社会科教材開発（歴史的分野）	中学校社会科歴史的分野の様々な内容に関して、近年の歴史学や社会科教育学、関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように活用していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。中学校社会科の事例を取り上げながらの講習となるので、主な受講対象者は中学校教諭とするが、小学校・高校教諭も受講可能。	福島市	平成24年7月15日（日）	6時間	6,000円	教諭	中学校社会科教諭	100人

区分	講習 番号	講習の名称	講習の概要	会場	講習の期間	時間数	受講料	対象職種	主な受講対象者	受講定員
選択領域	19	中学校社会科教材開発（公民的分野）	中学校社会科公民分野の、経済分野を中心とした教育内容研究と教材づくりの視点と方法を考えていく。そのうち、参加者一人ひとりの問題意識を発表してもらい、参加者全員でその解決策等を探っていく。	福島市	平成24年7月14日（土）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校社会科・公民科教諭	40人
	20	高等学校地理・歴史科教材開発（日本史）	高等学校日本史の様々な内容に関して、近年の歴史学や社会科教育学、関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように活用していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。高等学校日本史の事例を取り上げながらの講習となるので、主な受講対象者は高等学校教諭とするが、小学校・中学校教諭も受講可能。	福島市	平成24年7月28日（土）	6時間	6,000円	教諭	高等学校地理歴史科教諭	100人
	21	高等学校地理・歴史科教材開発（世界史）	高等学校世界史の様々な内容に関して、近年の歴史学や社会科教育学、関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように活用していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。高等学校歴史科の事例を取り上げながらの講習となるので主な受講対象者は高等学校教諭とするが、小学校・中学校教諭も受講可能。	福島市	平成24年7月29日（日）	6時間	6,000円	教諭	高等学校地理歴史科教諭	100人
	22	高等学校地理・歴史科教材開発（地理）	高等学校地理の様々な内容に関して、近年の地理学や社会科教育学、関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように活用していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。高等学校地理の事例を取り上げながらの講習となるので、主な受講対象者は高等学校教諭とするが、小学校・中学校教諭も受講可能。	福島市	平成24年7月30日（月）	6時間	6,000円	教諭	高等学校地理歴史科教諭	100人
	23	算数教育 もう一歩先へ	算数教育が抱える今日の課題をとらえ、これからの算数教育のあり方について考える。新しい学習指導要領に示された算数教育の方針と内容に基づき、日々の算数の授業において、算数的活動の充実を図り、子どもたちの思考力や判断力、表現力をより一層育むことが期待されている。算数的活動の充実に向けて日々の算数の授業をみる視点や文脈を広げたり深めたりすることを通して、子ども観、授業観、算数観を新たに振り返る。	福島市	平成24年8月9日（木）	6時間	6,000円	教諭	小学校教員	200人
	24	複素関数論入門	複素数 $z=x+iy$ を平面上の点 (x,y) と対応させ、2つの複素数の四則演算が平面上では何を表すかを見ることにより、代数学の基本定理を証明します。また、複素数が平面上を動くとき、2次元関数や一次変換によって値がどのように変化するかを考察することで、実数値関数と複素数値関数との違いについて学びます。	福島市	平成24年10月13日（土）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校数学科教諭	40人
	25	数学教員に要求されるものと、自ら欲するものの発見	学習者である児童、生徒の急速な変容に対応した指導教育を求められる数学教員を対象に、自己変革と対応の必要性の自覚を求め、具体的にどのように対応していくか、その方法を考えていきたい。いつでも変わらない普遍的、不変的な価値の探究というより、変わっていける可塑性へ追求を考えていきたい。1回の講義の中で、なるべく、活動と思考とが含まれるように中身を構築したい。	福島市	平成24年10月20日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校数学科教諭	50人
	26	有理数と無理数	有理数と無理数について講義する。特に有理数による無理数の近似の理論を通して数に関する理解を深める。	福島市	平成24年6月23日（土）	6時間	6,000円	教諭	中学校数学教員、高等学校数学教員	40人
	27	小学校理科セミナー	今般の学習指導要領改訂においては、小学校理科の学習内容が科学の基本的な見方や概念を柱に3区分から2領域となるなどとして、理科としての系統的な学びが一層重視されることとなった。本講座では、新しい観点や内容に関して、小学校理科を中心に、学習内容を具体化するための教材開発や指導の新たな試み、科学への関心を高める新しい理科教育の展望等についてなど多面的に学ぶこととする。	福島市	平成24年8月8日（水）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭、中学校理科教諭	70人
	28	基礎化学：化学的な考え方とその応用	化学の基礎的な概念について、理解しやすいように解説する。基礎知識が「いかに有用であるのか」ということを、濡れ性、洗剤、接着、プラスチック、繊維などの実例を通して理解できるようにする。一般的な化学式の羅列や分析手法ではなく、「役に立つ化学」を目指す。さらに、現在問題となっている放射性物質について、化学的見地から触れることにする。	福島市	平成24年8月17日（金）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校理科教諭	30人
	29	地圏・水圏の微生物	土壌の中や河川の水の中に存在する微生物を対象とする。微生物がどれほどの数あるいは量存在するのか、微生物が関与する土壌や水の化学的な過程、どのような種類の微生物が存在するのか、等について、研究の歴史、研究手法、現在の知見を紹介するとともに実習または実演を行なう。これら環境中の微生物の役割を理解する上で必要な土壌の構造や水圏の構成についての簡単な紹介を含む。	福島市	平成24年10月13日（土）	6時間	6,000円	教諭	高等学校理科（生物）教諭	50人

区分	講習 番号	講習の名称	講習の概要	会場	講習の期間	時間数	受講料	対象職種	主な受講対象者	受講定員
選択領域	30	放射線の物理	放射線に関わる物理的内容についての講習を行う。放射線の発生メカニズムおよび放射線量を表す種々の単位について確認した後、放射線を測定するための計測器の原理およびデータの読み方を学び、また実際に調査機関で用いられている食物放射線測定器やGe検出器による実習を行う。福島県で行われている環境放射線調査の結果を理科教員として自ら解釈できる力を養うことを目的とする。なお高校物理の範囲にある放射線の知識を前提に進めるので、事前に内容を確認しておくこと。	福島市	平成24年8月10日（金）	6時間	6,000円	教諭	中学校理科・高等学校理科	20人
	31	情報科学アップデート	情報科学・工学の分野で、比較的变化が早く、かつ中学校・高等学校における教育内容に関連した領域の知識をアップデートできる内容の講義をおこなう。テーマは、著作権など知的所有権の知識および個人情報やプライバシー問題の整理、情報メディア利用のあり方と社会生活の中での位置づけについて講義する。また情報ネットワークの基礎および最新の情報セキュリティの状況及び認証技術の基礎と応用について講義する。	福島市	平成24年8月11日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭（理科） 中学校技術科教諭 中学校理科教諭 高等学校工業科教諭 高等学校情報科教諭 高等学校理科教諭等	40人
	32	インターネットを活用した教材作成 ～気象データを用いた気象教材の作成ワークショップ～	インターネット等で公開されているリアルタイムなデータを素材として活用し教材化することにより、児童生徒がより興味を持つ教材を作成できることが期待できる。本講座では、teiten2000プロジェクト等で公開されているデータを活用し、新学習指導要領（理科）で述べられている気象観測の内容に即した教材作成を例に、ワークショップ形式で開講する。	福島市	平成24年8月12日（日）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭（理科） 中学校技術科教諭 中学校理科教諭 高等学校工業科教諭 高等学校情報科教諭 高等学校理科教諭等	40人
	33	デザインと材料について考える	この講義では、機械・構造物を構成する部材の「かたちとちから」に着目して、材料の変形と強度に関連する力学的な問題を取り扱う。使用する材料特性とその利用用途について理解を深め、とくに新型航空機にも使用されているプラスチック複合材料などについても理解を深め、省エネルギー・省資源の観点から、新たな機能やデザインを可能にする材料の設計開発についても基礎的な知識を習得する。	福島市	平成24年8月7日（火）	6時間	6,000円	教諭	中学校技術・家庭科教諭、 高等学校工業科教諭	50人
	34	音楽科の学習指導要領の内容と具体的な実践	新学習指導要領（音楽）の内容を理解し、2つの領域（表現・鑑賞）をどのようにして指導したらよいかについて、体験を通して把握する。具体的には、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞及び共通事項の扱いについて、指導上の問題や課題を取り上げ、その解決策を探る。	福島市	平成24年7月28日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭	30人
	35	発声法と歌曲演奏の実践	西欧発声法（F・フースラ氏の発声法を基に）及び呼吸法（G・ヘンドリックス氏の呼吸法を基に）の研究を通して日本歌曲及びイタリア歌曲の演奏法を実践研究する。	福島市	平成24年7月15日（日）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭、中学・高校音楽科教諭	20人
	36	音楽科における日本音楽の理解と指導法	中学校・高等学校音楽科において課題である日本音楽について、主な特徴を理解し、その指導法を考える。具体的には、様々な日本音楽のあり方や音楽的特徴（音素材、音階、リズムなど）を日本文化とのかかわりから理解し、その理解した内容を活かした指導法について実践（事など）を通して考える。	福島市	平成24年7月16日（月）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校音楽科教諭	50人
	37	音楽の作り方	音楽に関する基礎的技術とその応用力を確認し、必要に応じて追加的指導、対面講義を行う。主な内容は、「音楽の作り方」に関する演習を通じて、音楽創作の知識、技術を見る。またそのための必要な基礎技能を確認する。とりわけ、今日求められる情報機器を用いた創作学習の方法について、研修を行う。	福島市	平成24年7月21日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教員、中学・高校音楽科教諭	20人
	38	小学校における造形教育の意義と実践の展開	前半ではレジオエミリア市における造形教育を中心とした教育活動の紹介と分析を行い、併せて造形教育のあり方について今日の視点で講義する。後半では小学校における彫刻的表現に関わる基礎的な知識技能の概要を、実践に結びつけられるように簡潔にまとめたものを講義する。併せて学習指導要領の解釈並びに学校種別の連携を視野に入れた実践例の紹介も行う。	福島市	平成24年6月30日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭	50人
	39	造形的な表現活動を通じた指導と評価のあり方 - 美術科教育 -	今日の中学校・高等学校における美術教育の役割を再確認しながら、題材づくり・授業づくりの実践を学ぶ。 具体的には、美術教育における指導と評価の視点及び学校教育での美術科の役割について学ぶ。	福島市	平成24年6月9日（土）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校美術科教諭	50人
	40	造形的な表現活動を通じた指導と評価のあり方 - 絵やデザイン（映像メディア含む）などの平面造形について -	今日の中学校・高等学校における美術教育の役割を再確認しながら、題材づくり・授業づくりの実践を学ぶ。 具体的には、絵や彫刻に表す活動及び鑑賞活動における指導と評価の視点について学ぶ。	福島市	平成24年7月1日（日）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校美術科教諭	50人

区分	講習 番号	講習の名称	講習の概要	会場	講習の期間	時間数	受講料	対象職種	主な受講対象者	受講定員
選択領域	41	造形的な表現活動を通じた指導と評価のあり方 - 彫刻や工芸などの立体造形について -	今日の中学校・高等学校における美術教育の役割を再確認しながら、題材づくり・授業づくりの実際を学ぶ。 具体的には、デザインや工芸に表す指導と評価の視点及び鑑賞活動の指導と評価について学ぶ。	福島市	平成24年6月24日（日）	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校美術科教諭向け	50人
	42	体育科教育の最新理論と教育内容（小学校教諭向け）	小学校における体育科の役割に対する深い理解を促すとともに、体育の授業づくりに役立てることができる最新の体育科教育に関する理論と実践の紹介及び解説を行う。それらの知見をもとに、これまでの授業実践の振り返りを行い、授業改善に向けた課題の明確化を図る。	福島市	平成24年8月7日（火）	6時間	6,000円	教諭	小学校教員	30人
	43	体育科教育の最新理論と教育内容	体育科教育に関わる最新の知見を、理論と実技の両面から総合的に検討する。理論面においては教科教育学及び体育学と運動学、実技面ではオーブンスキル系とクロードスキル系に分け、担当者の専門分野からの視点を中心に、体育科教育の実践に関わる最新の知見を解説・指導する。	福島市	平成24年8月6日（月）～ 平成24年8月8日（水）	18時間	18,000円	教諭	中学校・高等学校保健体育科教員	100人
	44	小学校家庭科セミナー	小学校家庭科について、教科の特徴や学習指導上の課題および教科内容の科学等学び、教科認識や学習指導力を高めることを目的として実施する。家庭科教育学、住居学、食物学を専門とする教員及び学外講師が新学習指導要領の内容もふまえ、講義、実習等を行う。	福島市	平成24年9月22日（土）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭	70人
	45	中学校・高校家庭科セミナー 被服	この講習は、被服分野における教科専門に関する知識を深めることを目的として、主に和服の歴史や着装等について講義します。また、簡単な小物の製作実習を行う予定です。	福島市	平成24年10月6日（土）	6時間	6,000円	教諭	中学校技家「家庭分野」教員 / 高校家庭科教員	50人
	46	中学校・高校家庭科セミナー 食物学	この講習は、食物学の教科専門に関する知識を深めることを目的として、調理科学に関連する内容や、現代の日本の食生活状況、食育の進め方などについて、講義を中心に簡単な実習・実験などを交えながら行います。	福島市	平成24年10月7日（日）	6時間	6,000円	教諭	中学校技家「家庭分野」教員 / 高校家庭科教員	50人
	47	中学校・高校家庭科セミナー 家庭科教育	この講習では、現代の消費社会と生活についての理解を深めるとともに、家庭科における消費者教育の意義や役割を確認する。生徒が主体的な消費者として価値判断と意思決定を行っていくための、視野の広がりと思考の深まりをめざす家庭科の学習指導のあり方を考える。を主たる内容として、講義を中心に簡単な演習を取り入れて行います。	福島市	平成24年7月22日（日）	6時間	6,000円	教諭	中学校または高等学校家庭科担当教諭	50人
	48	道徳授業の理論と実践	現代道徳授業の理論と実践を4つの実践形態から明らかにする。4つとは「価値の内面化」（心情形成）、「価値の明確化」（判断力形成）、「価値の行為化」（実践力形成）および「価値の統合」である。「道徳の時間」を要とする日本の道徳教育実践の総体を「道徳的に考えるとは何か」に焦点をあてて、その実践の方向性を探究する。	福島市	平成24年8月23日（木）	6時間	6,000円	教諭	小学校教諭、中学校教諭	200人
	49	家庭支援に対応する生活指導研修講座	経済的困窮や養育に問題のある家庭、発達障害や学校不応、非行問題などに対する学校での支援チームのあり方、学外の児童福祉保健福祉、医療、警察等の関係機関との連携などをめくって、スクールソーシャルワークという新しい視点から問題の解決や軽減をはかる実践について、演習を取り入れて講義する。なお、演習の際に『「ふくしま」の子どもたちとともに歩むスクールソーシャルワーカー』ミネルヴァ書房（2,100円）を使用し、相談援助の技法やチーム会議の進め方、子ども理解の方法、関係機関との連携、アセスメント技法等について深めます。	福島市	平成24年7月25日（水）	6時間	6,000円	教諭 養護教諭	全教員	40人
	50	子どもの学びの事実に基づいた授業研究（小学校教諭向け）	近年の小学校における授業改革の取り組みを素材とし、これからの授業づくりにおいて子どもの学びを成立させるために知っておきたい見方や考え、技術を紹介・解説します。さらに、これまで授業改善に取り組んできた教師たちの事例を手がかりに、子どもの学びをみる視点や指導の背景となる考え方について、授業ビデオをもとに具体的に考えます。なお、受講者の問題意識と関連づけて授業ビデオ検討会を進めるため、受講者が感じている授業づくりの課題（200字程度）を事前にメール連絡することを参加のための必須条件とします。	福島市	平成24年8月21日（火）	6時間	6,000円	教諭	主として小学校教諭	60人
	51	高校生の学習力向上ワークショップ	教科学力ではなく、「学び方を学ぶ」「考えることを考える」力を「学習力」とする。これを授業をととして指導する教授力をどうつけるかを考えながら、生徒の学習を促す教材資料を作成するためのワークショップ形式の講習。午前、PISA型学力、キーコンピテンシー論の講義。午後、高校生のための「学びのガイドブック」仮称作成の演習。	福島市	平成24年8月19日（土）	6時間	6,000円	教諭	高等学校教諭	30人

区分	講習 番号	講習の名称	講習の概要	会場	講習の期間	時間数	受講料	対象職種	主な受講対象者	受講定員
選択領域	52	臨床心理学 - 発達障害と教育相談 -	近年、教育相談の中で発達障害を扱うことが多くなってきたので、教育相談の事例を通して留意点をみていく。(1)スクールカウンセラーとの協働、教育相談組織の持ち方、外部機関の活用の方について述べる(中野)。(2)非行問題との関連を中心に、保護者への対応について理論と実際を学ぶ(生島)。	福島市	平成24年8月25日(土)	6時間	6,000円	教諭 養護教諭	全教員	150人
	53	臨床心理学 - 発達障害の基本的理解 -	近年、発達障害への関心が教育現場で高まりつつあり、アスペルガー症候群やADHDなどの診断概念が知られるようになった。本講義では、(1)自閉症スペクトラム、ADHD、LDを中心に発達障害の概念、特性について概説する。疫学、原因論、脳機能の偏り、医学的病態や医学的治療についても解説する。(2)子供の特性に応じた心理教育のあり方と家族への支援について述べる。なお、臨床心理学 と の両方を受けることが望ましい。	福島市	平成24年9月1日(土)	6時間	6,000円	教諭 養護教諭	全教員	150人
	54	学校の中のジェンダーを考える	戦後の学校教育が男女平等の推進に大きな役割を果たしました。しかし、学校教育の場は表面的には男女の平等を保障しているように見えますが、性差別を再生産する場ともなっています。1.ジェンダーって何?、2.学校という場での差別の再生産(隠れたカリキュラム)、3.性別分業規範と家庭教育、4.人権学習としてのジェンダー平等教育、というテーマで学校の中のジェンダー問題について考えます。教育におけるジェンダー問題への気付きと生徒へのジェンダー教育の必要性について理解を深めることをめざします。	二本松市	平成24年7月28日(土)	6時間	6,000円	教諭	中学校・高等学校教諭	80人
	55	現代における子どもの貧困と家族支援	「格差と貧困」が叫ばれ、社会や経済の変化が、今を生きる子どもたちにも大きな影響をもたらしています。2010年1月に行った「福島県における子どもの貧困調査」においても、保育・学校・福祉施設を利用する子どもたちが、経済的困窮のみならず学力・健康・発達・社会関係など様々な面において不利な状態におかれていることが明らかになりました。本講習では現代における子どもの貧困の実態とその背景を探るとともに、子どもとその家族への支援のあり方について考えます。	福島市	平成24年9月22日(土)	6時間	6,000円	教諭 養護教諭	小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭	100人
	56	簿記と会計の橋渡し	「借方貸方ってどういう意味」、「どうして資本が純資産に変わったの」、皆さんはこの質問に答えられますか。簿記の授業では何故そう仕訳をするかと言う理論的な説明が省略されがちで、生徒は資格取得後1年もしれば全て忘れてしまうような状況です。現在国際会計基準導入間近なっていますが、本講義では、このような新しい会計学と、伝統的な会計学がどのように異なるのか、減損と減価償却といった具体例を対比的に示しながら、その理論的背景についてトリビアを交えながら基本を確認していきたいと思います。	福島市	平成24年8月7日(火)	6時間	6,000円	教諭	高等学校の商業科目担当教諭	100人
	57	経営学と倫理 —階級道徳と経営プロフェッショナル ナリズムの経営史—	経営学は変革期にどのように進化したのかを、以下の二つの時期について、倫理問題を核に検証します。第一次大戦期における、テイラーの科学的管理法からフォレットの経営哲学への発展、ニューデュール期から第二次大戦期における人間関係論から組織行動論への転換について眺めてみます。	福島市	平成24年7月15日(日)	6時間	6,000円	教諭	中学校公民教諭、高等学校公民教諭、高等学校商業科教諭、高等学校世界史教諭	20人
	58	保健指導・保健学習のための教材 研究ワークショップ	1グループ4人の4グループ編成とし、保健指導・保健学習の教材研究から指導案作成までの実際、作成した指導案に基づく模擬指導・授業、収録したを模擬指導・授業ビデオを用いた指導及び授業過程の検討を演習形式で進めます。	福島市	平成24年7月28日(土)～ 平成24年7月30日(月)	18時間	18,000円	養護教諭	小・中・高・特別支援学校養護教諭	16人